

◆◆◆ 平成21年度気象庁予算案及び平成20年度気象庁関係二次補正予算

12月20日(土)に平成20年度二次補正予算が、24日(水)に平成21年度予算政府案がそれぞれ閣議決定されました。以下は、それらの内の気象庁に係わる予算案の紹介です。

気象庁の平成21年度の予算の政府案額(単位:百万円)は、

一般会計	62,993
特別会計 (空港整備勘定)	10,323
合計	73,316 (対前年度比1.08)

で、主要事項の予算額(単位:百万円)は次のとおりです。

- 1 静止地球環境観測衛星(「ひまわり」8号・9号)の整備(初年度)(7,732)
- 2 地球温暖化観測・監視体制の強化(870)
- 3 台風・集中豪雨対策等の強化
 - (1) 市町村単位の気象警報の発表(221)
 - (2) 突風等に対する短時間予測情報の提供(71)
- 4 地震・火山対策の強化
 - (1) 火山監視・情報センターシステムの機能強化(225)
 - (2) 次世代地震津波監視システムの整備(457)

また、平成20年度二次補正予算額は、総額4,124百万円で、その内訳は次のとおりです。

- 1 気象官署施設の整備(単位:百万円)
 - (1) 高層気象観測施設の整備(1,166)
 - (2) 沿岸波浪観測施設の整備(154)
 - (3) 歪観測施設の整備(1,292)
 - (4) 緊急地震速報の精度向上(161)
 - (5) 火山観測点の強化(602)
 - (6) 津波観測施設の整備(680)
- 2 その他
 - (1) 原油高騰による観測船燃料費の増額(70)

(気象庁ホームページより)